

科目名		精神障害治療学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
本講座は、精神障害作業療法に関する治療構造（患者、個と集団、場、時間、作業活動、作業療法士の関わり）を学習する。また、精神障害のある当事者が地域で自尊心を回復して、「その人らしく生きてゆく」リカバリー概念を学ぶ。さらに、精神障害作業療法に関連の深い治療理論・アプローチに触れることを目的として授業を行う。									
〔授業全体の内容の概要〕									
精神障害作業療法の治療構造、リカバリー論、O Tに関連する理論・アプローチなど									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
・精神障害作業療法の治療構造を大まかにでも説明することができる。 ・病気・障害を持っても、その人らしく希望をもって回復に向けて努力することの意味（リカバリー）について、大まかにでも説明することができる。 ・精神障害作業療法に関連する理論・アプローチについて、大まかにでも説明することができる。									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション								
2	精神障害作業療法の構造①（治療過程と構造、治療的関わり方、作業活動、集団、時間・頻度・場所）								
3	精神障害作業療法の構造②（精神科作業療法、外来作業療法、精神科デイケア、精神療養病棟、認知症治療病棟）								
4	精神障害作業療法の構造③（精神保健福祉センター、作業所、グループホーム）								
5	地域生活支援①（精神科訪問看護、ACT、ケアマネジメント、福祉的就労と制度、就労移行支援、）								
6	地域生活支援②（障害者総合支援法、医療観察法、精神保健福祉法、社会福祉制度、社会資源）								
7	疾患別作業療法①（器質性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動の障害、統合失調症、気分障害）								
8	疾患別作業療法②（神経症性障害、生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群、パーソナリティ障害、てんかん）								
	定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法学 ゴールドマスターテキスト 精神障害作業療法学	山口芳文	メジカルビュー社

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする
